

高等学校用

書Ⅰ

科目名	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
書道Ⅰ	書Ⅰ	38 光村	書Ⅰ 308	光村図書出版

観点

特色・具体例

1

内容の選択・程度

- 学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。
- 基礎的・基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。

- 書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばせるよう、表現と鑑賞の教材が相互に関連を図りながらバランスよく配置されている。
- 各単元では「何を」「なぜ」「どのように」学ぶのが明確に示され、好きな古典を選ぶ・比べる・イメージを言語化するという主体的なアプローチが提示されている。生徒が自ら感じ、学び、考えることを通して、書に関心をもち、生涯学習の基礎となる知識や感性を能動的に習得できるよう工夫されている。
- 「漢字の書」では、唐の楷書及び王羲之の行書を重点的に取り上げ、鑑賞と臨書を通して字形の特徴や用筆の基礎・基本を確実に習得できるよう配慮されている。そのうえで、書風の多様性と背景にある文化への関心を広げられるよう、楷書では造像記や摩崖の書、行書では「風信帖」や三筆・三跡の書が資料図版とともにわかりやすく紹介されている。さらに、生徒が初めて出会う篆書・隸書・草書では、書体の特徴を捉えやすいよう典型的な古典が精選されている。
- 「仮名の書」では、古筆の特性を踏まえ、「蓬萊切」で筆使いや平仮名・変体仮名の基礎を、「高野切第三種」で連綿の基礎・基本を、「寸松庵色紙」「升色紙」で散らし書きの構成を、段階的かつ実践的に習得できるよう工夫されている。
- 「漢字の書」「仮名の書」では、字形や用筆のポイントがわかりやすく図解され、生徒の理解の助けとなっている。解説に書かれた歴史的・文化的背景は、釈文・大意と合わせて、当該古典への理解を深め、興味・関心を高める内容となっている。
- 「漢字仮名交じりの書」では、「漢字の書」「仮名の書」で習得した知識・技能をもとに、生徒が主体的に構想し、自己表現できるよう、書体や書風、紙面構成、用具・用材の工夫が、具体例とともに整理して示されている。
- 各領域の「創作」では、構想から制作、相互鑑賞に至る手順が丁寧に示され、生徒の目線に立った配慮がうかがえる。

2

組織・配列・分量

- 内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。

- 各領域において、学習指導要領の指導事項が適切に教材化され、相乗的かつ効果的に展開できるよう配列されている。
- 全体の導入として、中学校国語科書写の内容を振り返り、高等学校芸術科書道での学習を概観する教材が設置され、生徒が系統性を踏まえながら見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。
- 「漢字の書」「仮名の書」は、いずれも「1. はじめに」「2. 文字の造形を学ぶ」「3. 構成を学ぶ」「4. 創作する」の4単元で構成され、文字の歴史的変遷を概観したうえで、臨書と鑑賞を通して字形や用筆、紙面構成の基礎・基本を学び、身につけた知識・技能を生かして創作できるよう、効果的に組織・配列されている。
- 「漢字仮名交じりの書」は、「漢字の書」「仮名の書」の後に配置され、古典・古筆の臨書を通して習得した知識・技能を生かして、主体的に自己表現できるよう組織・配列されている。
- 「篆刻・刻字」は取り外しのできる16ページの小冊子に収録されており、各校のカリキュラムに即して活用することができる。「篆刻」では白文印と朱文印、「刻字」では陰刻と陽刻の制作手順が、写真とともに丁寧に解説されている。
- 「資料」は、姿勢・執筆、用具・用材の基礎知識をまとめた「書写・書道の基本」、手紙やのし袋、履歴書等の書式や、書を生活の中で活用するヒントを示した「生活の中の書」、書道史年表や美術館・博物館ガイド、書道用語一覧を収録した「書道事典」の3部構成となっており、「書道Ⅰ」での学習を日常に生かすための配慮がなされている。

3

表記・表現および使用上の便宜

- 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。
- 用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。
- 印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。

- 唐の四大家による楷書の法帖や、「蘭亭序」の全景、「高野切第三種」等の紙面を見開きや折り込みで再現するなど、臨場感あふれる紙面構成と鮮明な図版によって書の美を伝え、生徒の興味・関心を高めている。
- 随所に設置されたコラムでは、書の伝統と文化に対する理解を深めるとともに、他の芸術分野や国語、歴史の学習にもつながる多角的な話題が提示されている。
- 古典や古筆、名筆の図版はフルカラー・高精細で迫真性があり、印刷も鮮明である。
- 活字の書体や大きさ、行間は適切に設定されており、読みやすい。また領域ごとに中扉やインデックスを付して検索性を高め、生徒が教科書を主体的に活用できるよう配慮されている。
- 解説文は簡潔かつ平明であり、専門的な用語には適切な説明が施されている。用語や表記も統一されている。
- 特別支援教育及びカラーユニバーサルデザインの専門家による校閲を受けており、全ての生徒にとってわかりやすい紙面が実現されている。
- 表紙はポリプロピレンラミネート加工により、墨による汚れに対応しやすくなっている。
- ページを折り返すことのできる中綴じ製本を採用しており、高精細な古典画像を机上に置いて臨書できるよう配慮されている。環境に配慮した紙と植物油インキを使用しており、環境への配慮もうかがえる。

4

総合所見

- 上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特色。

- 「書道Ⅰ」の学習に必要な教材が、内容的にも分量的にもバランスよく配分されている。
- 生徒の興味・関心を喚起する魅力的な教材と、大判を生かした迫力のある紙面、鮮明な写真によって、生徒が書の美に親しみ、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。

科目名	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
書道Ⅱ	書Ⅱ	38光村	書Ⅱ 304	光村図書出版

科目名	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
書道Ⅲ	書Ⅲ	38光村	書Ⅲ 304	光村図書出版

観点	特色・具体例	特色・具体例
1	内容の選択・程度	内容の選択・程度
<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ●基礎的・基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書道の創造的な活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばせるよう、表現と鑑賞の教材が相互に関連を図りながらバランスよく配置されている。 ●「漢字の書」では、各書体を代表する古典を中心としつつ、多様な古典が適切に教材化されている。特に篆書・隸書・草書は、拓本の拡大反転や運筆の連続写真を用いて、書体の特徴や用筆の基礎が初学者にもわかりやすいように解説されている。 ●「仮名の書」では、「書道Ⅰ」の系統を踏まえつつ、多様な古筆が適切に選定されている。また墨継ぎや散らし書きなど美の諸要素について、図解などで理解を深められるよう工夫されている。 ●「漢字仮名交じりの書」は、古典・古筆を参考にして創作できるように配慮され、実態に応じて両者を関連させて扱うこともできる。字形、用筆、用具・用材や紙面構成上の工夫も取り上げている。 ●「書の歴史と文化を知る」では、書の伝統と文化について理解を深められるよう、日中の書道史が視覚的に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書道の創造的な活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高められるよう、表現と鑑賞の教材が相互に関連を図りながらバランスよく配置されている。 ●「漢字の書」では、創造性を育む「書道Ⅲ」の目標にふさわしい個性豊かな古典が幅広く網羅されている。また、複数の書家による臨書例や書論が手がかりに、書への理解を多角的に深められるよう配慮されている。 ●「仮名の書」では、平安から江戸までの古筆が時代別に掲載されている。各時代の古筆に関連した書論も配され、伝統文化としての書に対する理解を深め、多様な美を感じられるよう配慮されている。 ●「漢字仮名交じりの書」では、現代社会に即して効果的に自己を表現した作品や現存作家の提示する新しい書の在り方、生活の中の書など、多様な作品が掲載され、生徒の視野を広げる配慮がなされている。
2	組織・配列・分量	組織・配列・分量
<ul style="list-style-type: none"> ●内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭「鑑賞のポイント」では、鑑賞・分析の観点が解説されており、表現と鑑賞を相互に関連させながら能力を伸ばし、書への総合的な理解や感性を高められるよう配慮されている。 ●「漢字の書」では、導入として書体の変遷を扱い、全体像を把握したうえで各書体を学習できるよう構成されている。各書体の学習は、臨書→鑑賞→創作の流れで段階的に組織されている。 ●「仮名の書」では、表現技法（連綿・墨継ぎ、線質、変体仮名）、紙面構成（散らし書き）、用具・用材というテーマを設定し、段階的に学習できるよう、わかりやすく教材化されている。 ●「漢字仮名交じりの書」は、「漢字の書」「仮名の書」と関連を図りながら効果的に学習を深め、個性豊かに表現できるよう工夫されている。 ●「篆刻・刻字」では、制作手順が写真とともに丁寧に解説されている。また「篆刻」では、印の歴史と多様性が視覚的に示されている。 ●「書の歴史と文化を知る」は、日中の書の歴史と各時代の特徴を確認できるよう工夫されている。生徒の自学自習にも適している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「漢字の書」「仮名の書」では、臨書や鑑賞を通して知識・技能と感性を高めることで、創造的かつ個性豊かな創作につながれるよう効果的に組織されている。 ●「漢字仮名交じりの書」では、名筆の鑑賞を通して現代社会における書の意義を実感することで、創造的かつ個性豊かな表現を探究できるよう配慮されている。 ●「篆刻・刻字」は、多面的な鑑賞の観点を獲得できるよう組織されており、美への総合的な感性を高めることができる。 ●「書論」の意味や鑑賞への生かし方をコラムで解説している。また、古典・古筆と関連づけながら随所で取り上げ、書の歴史と伝統を尊重し、書に関する理解を総合的に高められるよう配慮されている。 ●「中国・日本書道史略年表」「国宝地図」など、日中の書の伝統とその背景にある諸文化への理解を深め、それらを尊重する態度を養う資料が掲載されている。
3	表記・表現および使用上の便宜	表記・表現および使用上の便宜
<ul style="list-style-type: none"> ●学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ●用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か。 ●印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ●古典や古筆、名筆の図版はフルカラー・高精細で迫真性があり、印刷も鮮明である。臨場感あふれる図版と大胆な紙面構成により、書の美を体感できる。 ●書文化への理解を広げるコラムが随所に掲載されている。 ●生徒が教科書を主体的に活用できるよう、中扉やインデックスで検索性を高め、課題発見・解決への示唆としてキャラクターを効果的に用いている。 ●解説文は簡潔かつ平明であり、用語や表記も統一されている。 ●特別支援教育及びカラーユニバーサルデザインの専門家が校閲しており、全ての生徒にとってわかりやすい紙面が実現されている。 ●表紙はポリプロピレンラミネート加工により、墨による汚れに対応できるようになっている。 ●造本においては、環境に配慮した紙と植物油インキを使用しており、環境への配慮がうかがえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●古典や古筆、名筆の図版はフルカラー・高精細で迫真性があり、印刷も鮮明である。臨場感あふれる図版と大胆な紙面構成により、書の美を体感できる。 ●書文化への理解を深めるコラムが随所に掲載されている。 ●生徒が教科書を主体的に活用できるよう、中扉やインデックスで検索性を高め、課題発見・解決への示唆としてキャラクターを効果的に用いている。 ●解説文は簡潔かつ平明であり、用語や表記も統一されている。 ●特別支援教育及びカラーユニバーサルデザインの専門家が校閲しており、全ての生徒にとってわかりやすい紙面が実現されている。 ●表紙はポリプロピレンラミネート加工により、墨による汚れに対応できるようになっている。 ●造本においては、環境に配慮した紙と植物油インキを使用しており、環境への配慮がうかがえる。
4	総合所見	総合所見
<ul style="list-style-type: none"> ●上記観点から見た、全体的・総合的な教科書の特徴。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「書道Ⅱ」の学習に必要な教材が、内容的にも分量的にもバランスよく配分され、「漢字の書」「仮名の書」のいずれかを選択した場合にも、効果的に学習計画を進められるよう単元構成が工夫されており、個や学校の実態に応じた授業が組み立てられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「書道Ⅲ」の学習にふさわしい名跡が多数掲載され、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」または「鑑賞」のうち一つ以上を選択して学習したり、「漢字の書」「仮名の書」で臨書または創作のいずれかを重点的に学習したりすることが可能になっている。